

【オープンハウス開催のお知らせ】

オープンハウスでは、写真やイラスト等を用いたパネル展示・内容のご説明を行います。

～展示内容～

- 今回選定した概略計画の内容
- みなさまから頂いたご意見のご紹介 など

会場には職員が常駐し、みなさまからの質問をお受けいたします。
ご不明な点がございましたら職員へお気軽にお声掛けください。
みなさまのご来場をお待ちしています。

＜開催日時＞

令和2年2月13日(木)
～14日(金)

10:00～17:00

＜開催会場＞

鳥取市役所新庁舎 1階総合情報スペース（西口）
〒680-8571
鳥取市幸町71番地

＜開催日時＞

令和2年2月21日(金)
～24日(月・祝)

10:00～17:00

＜開催会場＞

イオンモール鳥取北
モール棟1階 メガネの田中前通路
〒680-0904
鳥取市晩稲348

※第1回と第2回のオープンハウスは、同じ内容での開催です。



鳥取市役所は新庁舎で開催します。
旧庁舎と間違えないようにお気を付けください。

▲昨年のオープンハウスの様子

“オープンハウス”開催会場のご案内



◆ポータルサイト（HP）で情報を提供しています

鳥取河川国道事務所

検索

『鳥取豊岡宮津自動車道(鳥取～福部)の道路の計画検討』に関する情報をお知らせするポータルサイトで、活動状況や、選定した概略検討などの情報を提供しています。みなさまからのアクセスをお待ちしています。

鳥取豊岡宮津自動車道
(鳥取～福部)の計画段階評価

ポータルサイトへは、国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所のホームページから左記のバナーをクリックしてアクセスしてください。

ご意見・
お問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所 計画課
電話：0857-22-8435（受付時間8:30～17:15） ※土日祝を除く
メール：info-tottori@cgr.mlit.go.jp
ポータルサイト：http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/road/tottorifukube/index.html



みなさまと考える、みなさまと進める

南北線だより

鳥取豊岡宮津自動車道（鳥取～福部）の検討をみなさまとともに進めます。

『南北線』は、鳥取豊岡宮津自動車道（鳥取～福部）の通称です。

2020年2月発行

第7号

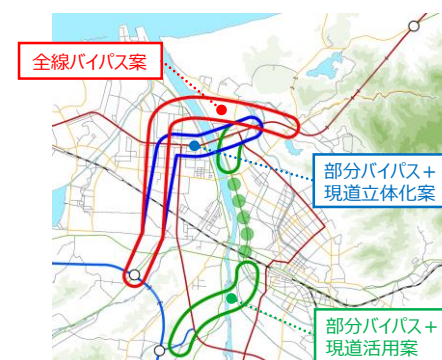
発行/国土交通省
鳥取河川国道事務所

南北線の概ねのルートや構造等を定めた

「概略計画」を選定しました！

詳しい「概略計画」については“中面”をご覧ください

鳥取豊岡宮津自動車道（鳥取～福部）の検討にあたっては、「全線バイパス案」、「部分バイパス+現道立体化案」、「部分バイパス+現道活用品案」の3つのルート帯（案）をお示ししてきました。これらの3案から、渋滞緩和や災害時の交通確保、観光支援が最も見込め、様々な地域のニーズに応えることができ、まちづくりの支援に繋がる「全線バイパス」を概略計画に選定しました。
詳しい概略計画については“中面”をご覧ください。



▲3つのルート帯（案）

これまでの経緯と今後の流れをお知らせします

H30.5～
課題・ニーズの把握と
道路計画の必要性の確認

H30.11～
複数案の設定と
評価項目の設定

複数案の比較評価

「概略計画(案)」の
とりまとめ

「概略計画」の選定

都市計画(案)の作成
地元説明会などの実施

都市計画(案)の
公告・縦覧・意見書の提出

都市計画審議会
都市計画決定

事業化

各段階において、市民や団体のみなさまからご意見をいただきました。

- ・道路交通の課題や道路に求める機能、対策案の評価する観点、より良い対策案とするためのご意見等について、アンケートやワークショップなどを通じて、お伺いしました。
- ・お伺いしたご意見や、ご意見を踏まえた検討結果などの情報については、ニューズレターやオープンハウス、ポータルサイトなどを通じて、みなさまと情報共有しながら、検討を進めました。



▲オープンハウス

みなさまのご意見や有識者の助言を踏まえ、概略計画を選定しました。



▲有識者委員会

- ・みなさまとのコミュニケーションを通じて得られたご意見を踏まえながら、道路に求める機能である政策目標や複数の対応策、比較評価する視点を設定しました。
- ・みなさまからのご意見やまちづくりなどの行政政策との整合、技術的な観点に基づく総合的な評価に加え、有識者の方々からの助言を踏まえ、比較3案の中から概略計画として、「全線バイパス」を選定しました。

今後は都市計画の手続きとなります。

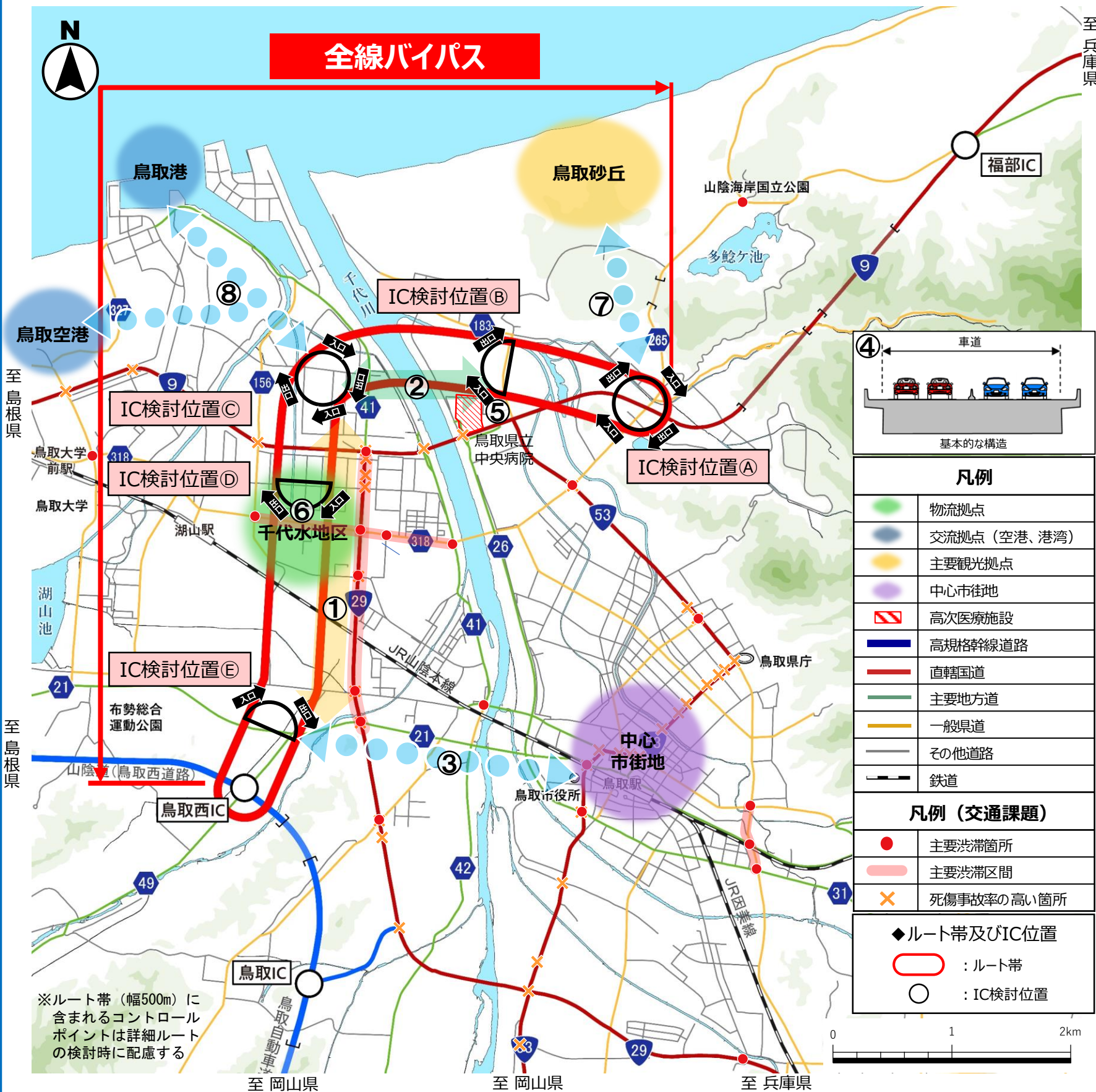
- ・今後は、選定した概略計画「全線バイパス」に基づき、ルート検討や構造検討を進め、計画の具体化を進めていきます。
- ・都市計画(案)の作成を行い、地元説明会や公告・縦覧・意見書の提出などにより、地域のみなさまへのご説明やご意見の把握を行います。
- ・作成した都市計画(案)は、都市計画審議会にて承認されることで、都市計画決定され、事業化となります。

選定した概略計画【全線バイパス】の内容を紹介します。

ここでは今回選定された【全線バイパス】の特徴について紹介していきます。

概略計画について

これまでお示してきた3つのルート帯（案）から、アンケートやワークショップなどのコミュニケーションを通じてみなさまから頂いたご意見や、有識者委員会の審議・助言を参考に、案①の全線バイパスによる整備を概略計画として選定しました。
今後は、この概略計画を基本として、具体的なルートや構造等を検討していきます。



【全線バイパス】の特徴

ルート帯の選定理由

- 全線バイパスでの整備によって、すべての政策目標の達成が可能です。
- 「渋滞が緩和されること」、「交通事故が起きにくいこと」、「自然災害時の代替路が確保されること」、「主要な観光地へのアクセス性の向上」につながり、地域のニーズに対応しています。
- 高速道路ネットワークの確立や道路防災機能の向上など、地域のまちづくり計画を支援します。

目的と期待する効果

全線バイパスでの整備により、以下の効果が見込まれます。

政策目標	図中番号	見込まれる効果
日常生活の利便性・安全性の向上	①	バイパスに通過交通等が転換し、国道29号等の混雑が緩和。
	②	千代川をまたぐバイパスが整備され、道路の選択肢が増加。
	③	中心市街地へのアクセス性向上。
災害時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保	④	基本構造が高架橋であるため、千代川氾濫等による路面冠水での通行規制を回避可能。
	②	千代川をまたぐバイパスが整備され、災害時の代替路として機能。
救急医療機関への速達性向上	④⑤	走行性の高い道路で結ばれ、県立中央病院までの搬送時間の短縮や患者の負担軽減。
産業活動の支援	①	主要渋滞箇所が連続する国道29号をバイパスするため、速達性・定時性が向上。
	⑥	千代水地区に近接するため、物流関係のアクセス性が向上。
観光振興の促進	-	高速ICへ直結するネットワークが形成され、岩美町から水産物の輸送時間が短縮。
	⑦	高速ICと新たな道路が結ばれ、主要観光地（鳥取砂丘）へのアクセス性が向上。
	⑦⑧	全線バイパス整備により、交通状況が改善され、周遊性の向上。

インターチェンジ配置

各IC（インターチェンジ）により、以下のような効果が見込まれます。

検討位置	図中番号	見込まれる効果
IC検討位置④	⑦	主要な観光地（鳥取砂丘）へのアクセス性を向上し、観光振興に貢献。
IC検討位置⑤	②⑤	検討位置③と一体となり、千代川をまたぐバイパスを形成。また県立中央病院へのアクセス性を向上し、第三次医療機関への速達性を向上。
IC検討位置③	②⑧	検討位置⑥と一体となり、千代川をまたぐバイパスを形成。また鳥取港及び鳥取空港へのアクセス性を向上し、観光振興に貢献。
IC検討位置⑥	①⑥	検討位置④と一体となり、国道29号の混雑緩和に貢献。また物流拠点である千代水地区から鳥取道・山陰道へのアクセス性を向上し、産業活動を支援。
IC検討位置④	①	検討位置③、⑥と一体となり、国道29号の混雑緩和に貢献。